

桐生のシンボル冠する

技術と伝統を集約するアパレルブランド



**Sawtooth
Roof**
MADE IN KIRYU



ソウトゥース ルーフ
Sawtooth Roof

ノコギリ型の屋根が特徴的で、生産の場として世界共通のシンボルでもあるノコギリ屋根工場。繊維産業で栄えた桐生市には 200 棟以上の工場が残り、その利活用の取り組みは先進事例として注目されている。「Sawtooth Roof (ソウトゥース・ルーフ) = ノコギリ屋根」は、そんな織物のまち・桐生のシンボルをブランド名に冠した新進気鋭のアパレルブランドである。

ブランドを企画するのは、有限会社横倉繊維（横倉守代表取締役）の四代目・横倉剛氏（36歳）。約70年前に機屋として創業した同社は、現在、デザイナーズブランドやセレクトショップなどの染色加工を手掛ける。横倉氏がブランドを立ち上げたのは 2015 年（平成 27）。OEM 生産（相手先ブランド製品の受託製造）が中心の桐生の繊維業界には、各工程に一流ブランドやセレクトショップを支える熟練の職人が集積する。その技術をより身近なデイウェア（日常着）として集約し、桐生ブランドとして発信していくことがスタートのきっかけだったという。

Sawtooth Roof は T シャツやカットソーなどを中心に展開し、そのデザインはヨーロッパのテイストを取り入れ、美しいシルエットを見せる。大量生産でない分、デザインには細部にまでこだわり、ヘンリーネック T シャツでは、あえてボタン位置をセンターからずらすなど、高い技術も注がれている。また、繊維に関しては高品質なパーツが産地内で調達できる桐生の利点を活かし、素材は着心地がよく長く使用できるものを選ぶ。そして、染色業者として色には一番にこだわり、世界のトレンドを研究しながらも、Sawtooth Roof では日本人の肌や髪の色、そして生活に馴染む色を独自に調整する。そんな桐生の技術や伝統が詰まったメイド・イン・桐生の一枚は、シンプルでありながら絶対にマネできない至高の逸品に仕上がっている。

横倉氏は Sawtooth Roof を通じて、新たな事業者間連携を生み、産地全体を盛り上げようと試みる。「産地が盛り上がることで、ものづくりのまち・桐生の魅力に世界から注目してほしい。自己満足で終わらないようにしたい」と話す。桐生が誇る地域資源でありながら、その数を年々減らしているノコギリ屋根工場。「自分たちが桐生のノコギリ屋根を知る最後の世代にならないように」と、産地に対する熱い想いがにじみ出ている。

●場所／桐生市境野町1-1147 ●電話／0277-44-5026 ●FAX／0277-46-2019
●HP／<https://sawtooth-roof-2015.jimdo.com/>
[有限会社横倉繊維] HP／<http://yokokura.jimdo.com> E-mail／color.yokokura501@gmail.com